

# 第 29 号

ボランティアの輪を広げよう

— 発 行 —

糸魚川市ボランティアセンター  
糸魚川市ボランティア  
連絡協議会  
(糸魚川市社会福祉協議会内)  
新潟県糸魚川市寺町4-3-1  
TEL (025) 552-7700  
FAX (025) 553-1657

# 糸魚川市 ボランティアだより

## やさしい心に感謝!!



# ボランティアに参加しませんか

あなたの力を社会に活かそう



## バルーンアート ボランティア講座に参加して

第3民児協 山口貴代子

令和3年7月14日(水)、21日(水)ビーチホールまがたまで全2回の講座に合計30名の方が参加しました。講師はSmile Balloon KUMA(スマイル バルーンくま)さんです。

バルーンアートは、細長い風船を専用のポンプで空気を入れ丸くひねったり細長くしたりして様々な形を作ります。私も初めて挑戦したので途中で破裂したりして、参加者の皆さんも四苦八苦していましたが、講師のアドバイスなどで、剣、動物、花など色々教えていただき作成することが出来ました。講座の最後に講師からバルーンで作ったブドウのプレゼントがあり皆さん大変喜んでいました。

8月21日(土)の福祉大会でバルーンアートを作成する予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。

11月20日(土)に好望こまくささんのバタバタ祭りが

開催される事となり、飾り付けにバルーンアートの作成依頼があり6名の参加者により作成しました。バタバタ祭りの来場者は100名ほどでした。帰りに子供たちが両手にいっぱいバルーンを、喜んで持ち帰りました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い行動制限がされている中でも、子供たちが喜んでくれた事に嬉しく思いました。

又、新型コロナウイルスの感染が終息し一日も早く通常の生活が戻ることを願っています。



## 糸魚川ボラ連自主研修

糸魚川国際交流協会 井崎由紀子

令和3年11月12日(金)、小雨が降りしき中、10団体総勢12名での研修が始まりました。

まずは『フォッサマグナムミュージアム』讃岐石の石琴が、おなじみの曲「春よ来い」を奏で、響き渡る廊下を抜けると、国石ヒスイの美しい展示に目を奪われます。先に進むと、今度は足元から迫る映像と音で圧倒されます。この解説動画では、恐竜時代



からの大地の成り立ちや、日本列島の誕生とフォッサマグナの理解が深まります。最後は世界の化石・鉱物の数々に魅了され、大好きな水晶や色鮮やかな石たちに癒され、博物館を後にしました。

昼食は『そば処泉家』さんで舌鼓を打ち、同席の皆さんと簡単な自己紹介を交えた楽しいおしゃべりで、あっという間に終了です。

そして今回の最終目的地『駅北広場キターレ』に着く頃には雨が激しく降り、当初予定されていた『まち歩き』は中止になりました。館内見学と座学の講師は、復興支援を機に移住された野村祐太氏で、大火発生～避難～消火～復興の様子を丁寧に説明してくださいました。館内には平成28年12月に発生した大火に関する解説板や消防資機材、生活用品が展示され、記録と記憶の伝承に役立っているようです。また、埋設されている200トンの防火水槽を見ることができ、その大きさと水量には驚きます。過去の経験から多くを学び、今後に備える事が大切だと再認識致しました。

普段お話する機会が少ない各団体の皆さんとご一緒することもでき、有意義な研修になりました。

## 災害関連学習会「地すべりってなんだろう」 ー フォッサマグナとの関係 ー

糸魚川市赤十字奉仕団 谷口純子

11月25日(木)にビーチホールまがたま2階研修室5にて行われた学習会に参加しました。11月20日(土)に「プラタモリ・糸魚川編」があり、講師もフォッサマグナミュージアムの竹之内館長とのことで、タイミングの良い学習の機会でした。



内容は、フォッサマグナの成り立ちや地層の事、地すべりの形や素因についてでした。レジュメと映像を拝見しながら大変解りやすくご説明くださいました。中でも今回のテーマである地すべりについては、「来海沢の地すべり」「月不見の池の地すべり」を例に具体的に説明してくださいました。フォッサマグナ地域での地すべりは、その土地の特徴として、古い地盤の上にできた新しい地層(軟弱な砂岩や泥岩)、土地の隆起や新しい地層に形成された火山の噴火などによる火山岩などが素因であり、降雨、融雪、地震等が誘因となって地すべりを引き起こすそうです。しかしながら、その素因を持つ土地が水を豊富に貯え、草木を育み、田畑を潤してくれています。豊かな自然の恩恵を受けているのも私たちなのです。

地すべり多発地帯の糸魚川市の地質の特徴を踏まえたうえで、ハザードマップを今一度見直そうと、思いを新たにしました学習会でした。

## 糸魚川市民のつどい福祉大会に参加して

こしおうみひのきしん会 齋藤拓雄

令和3年12月5日(日)に開催された「糸魚川市民のつどい福祉大会」において、私はフードドライブの受付の役を頂きました。

現在、新型コロナウイルス感染症が原因で勤めを辞めさせられる人がいるという事態がおきています。そのために生活困窮者が増えています。

また、賞味期限があるため国民一人ひとりの捨てる食品の量が年間30～40キロに及ぶとも新聞に書かれていました。まだ十分に食べられるものであっても捨てなければならない現実に、昔人間の私としては勿体ないと思う次第であります。

これからは各業者の方々に依頼してご協力を願い、人間愛でたすけあいの輪を広めさせていきたいと私は思うのであります。苦しい時こそみんなが助け合い明るい社会を作らなければならないと思います。

市民のつどい福祉大会では初めてのフードドライブということでしたが、心ある方々からの尊い物資

をお預かりしました。しかしながら、まだこの制度が十分に理解されておられない面もありますので今後はもっと世間に広めていかなければならないと感じました。



当日、お預かりした品物です。後日、フードバンク上越にお届けしました。

## 磯部っ子ボランティア活動の紹介 ～磯部小学校～

磯部小学校では、地域・校内で自分たちにできる活動を行ってきました。

### いそべ海の日・クリーン活動

磯部小学校には、毎年6月に、ふるさとの海とふれあう日(いそべ海の日)があります。6月8日に、筒石の海岸清掃を行いました。全校児童に加え、上越漁業協同組合筒石支所の青年部の方々と一緒に1時間ほどゴミ拾いをする、見違えるように砂浜がきれいになり、子どもたちも達成感でいっぱい。ふるさと磯部の海を少しでもきれいに保ちたいという気持ちを高めていました。



その後、青年部の方々から船に乗せていただき、きれいになった砂浜や小高い丘の上に立つ母校を海から眺めるという貴重な体験をさせていただきました。

磯部地域ならではの活動に、子どもたちも喜びを感じながら過ごしていました。



### 赤い羽根共同募金・あいさつ運動

「おはようございます。」3・4年生が校内を回り、募金活動をしながらあいさつ運動をしました。募金が集まるだけでなく、元気なあいさつを通して子どもたちのやる気スイッチも入りました。

集まった募金は、後日、社会福祉協議会へ届けました。



### 水盤をきれいにしようプロジェクト

5年生が家庭科の授業でそうじの仕方を学び、校内の汚れているところに注目しました。「みんなが手洗いをしたり、習字の筆を洗ったりする水盤には、水垢や墨がついていて汚いな。ぼくたちの手できれいにしよう!」という声があがりました。クエン酸や重曹なども使い、本格的にそうじをしました。ぴかぴかになった水盤を見て、「もっとやりたい!」というつぶやきが出ました。

後日、5年生のがんばりを紹介したので、全校のみんながきれいな学校を保ってくれるといいなと考えています。



### 編集後記

今年度も、コロナ禍のため事業が縮小し、この第29号が唯一の発行となってしまいました。新たな強敵オミクロ

ン株も猛威を振るっておりますが、どうかみなさまご自愛いただき、もうすぐ訪れる暖かい春を心待ちにお過ごしください。  
広報部 杉ノ上